

# 図書館・文化ホール建設に向けた検討会 最終報告

令和2年12月

図書館・文化ホール建設に向けた検討会

# 目 次

1	はじめに	2
(1)	図書館・文化ホール建設に向けた検討会の発足と経過	2
(2)	検討会委員	3
(3)	検討会の開催経過	4
2	文化ホール建設に向けた検討	6
(1)	本市における文化ホールの現状	6
ア	観光会館	6
イ	観光会館別館	7
(2)	地域タウンミーティング及び未来ビジョン会議における検討	8
ア	平成30年度地域タウンミーティングにおける意見	8
イ	未来ビジョン会議における意見	10
(3)	図書館・文化ホール建設に向けた検討会における検討(意見)	12
3	文化ホール建設候補地の選定について	14

## 【参考資料】

資料-1	:建設候補場所及び概要①	18
資料-2	:建設候補場所及び概要②	19

## 1 はじめに

### (1) 図書館・文化ホール建設に向けた検討会の発足と経過

伊東市では、建設から数十年を経過した公共施設が多くなり、中でも図書館や文化ホールにおいては、老朽化とともに災害対策や社会環境の変化に対応した設備の充実など、新たな施設を望む市民要望を受け、平成29年度に伊東市役所庁内ワーキンググループを設け、新施設について検討を開始した。

庁内ワーキンググループでは、「伊東駅前」、「マンダリンホテル跡地」、「市民グラウンド※」、「アピタ交差点南側」、「伊豆高原駅周辺」の5か所を建設候補地(案)とした『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性』を作成し、それを基に、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議など、市民からいただいた意見なども取り入れる中で、多様化及び高度化する利用者ニーズに対応した本市にふさわしい施設建設を具体化させるため、「図書館・文化ホール建設に向けた検討会」を発足させた。(※「市民グラウンド」については、人工芝生化事業を実施するとして、候補地から除外。)

「図書館・文化ホール建設に向けた検討会」は、建設候補地及び建設形態についての検討を目的に、市内各種団体からの推薦や公募委員によって構成され、平成30年10月の第1回会議を皮切りに、民意を反映させた協議を進めてきた。この間、高校統合案や小中学校の適正配置など、目まぐるしく社会環境が変化する中で、その適地について委員から多くの意見が述べられたが、図書館と文化ホールはその機能性を勘案し、別施設として建設するほうが望ましいとの意見が多数であったことから、まず、図書館の建設地として「マンダリンホテル跡地」を選定し、令和元年10月に市長に報告をした。

本報告は、残る協議事項である文化ホールについての検討を決定し、報告するものである。

## (2) 検討会委員

検討会委員には、市内の各団体からの推薦による有識者9人のほか、公募委員2人にて構成（詳細は、以下のとおり。）

	氏名	性別	選出区分	備考
1	佐々木 誠	男	文化協会	
2	村田 充康	男	観光協会	
3	佐藤 和也	男	商工会議所	副会長
4	杉村 大樹	男	青年会議所	
5	鈴木 節男	男	建関連組合	
6	塩谷 安朗	男	建築士会	
7	村上 恵宏	男	教育委員	
8	三枝 俊次	男	社会教育委員	会長
9	森 知子	女	女性連盟	
10	杉本 憲也	男	公募委員	※令和元年9月まで
11	野口 夏未	女	公募委員	

### (3) 検討会の開催経過

回数	開催日時	場所	議 事
第1回	平成30年10月17日(水)	伊東市役所8階大会議室	○検討会の主旨説明等 ○会長・副会長選出 ○図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について、地域タウンミーティング及び未来ビジョン会議における意見の紹介
第2回	平成30年11月22日(木)	伊東市役所8階大会議室	○地域タウンミーティング等での意見について紹介 ○今後の進め方について ○建設候補地及び建設形態の検討
第3回	平成31年2月7日(木)	伊東市役所5階中会議室	○地域タウンミーティング等での意見について紹介 ○建設候補地の検討
第4回	平成31年3月19日(火)	伊東市役所5階中会議室	○検討会委員の来年度継続について ○本市図書館の現状と課題について
—	平成31年3月25日(月)	市長に対し、検討会会長から平成30年度の検討結果として以下3点を報告 【報告内容】 ①建設形態:「図書館」と「文化ホール」を別の場所に建設すること。 ②建設候補地:市内小・中学校の適正配置及び県立高校の統廃合の方向性を見つつ、平成31年度も継続して検討する。 ③検討に当たり、「図書館」の建設候補地案から検討を行い、その後、「文化ホール」の建設候補地案について検討を進める。	
第5回	令和元年5月14日(火)	図書館・文化ホール建設に向けた検討会委員及び教育委員による合同視察を実施 【視察施設】 ○大和市文化創造拠点シリウス ○大和市立中央林間図書館	
第6回	令和元年6月11日(火)	伊東市役所1階 展望ギャラリー	○第5回検討会における視察概要について紹介 ○図書館建設候補地検討に係る意見照会(とりまとめ)について紹介 ○図書館の建設候補地の選定に向けた意見について
第7回	令和元年10月1日(火)	伊東市役所2階中会議室	○図書館建設候補地選定に係る協議 ○検討会中間報告書(案)協議
—	令和元年10月9日(水)	市長に対し、検討会正副会長から中間報告 【報告内容】 ①建設形態については、「図書館」と「文化ホール」を別の場所に建設すること。 ②新図書館の建設候補地を『マンダリンホテル跡地』に選定したこと。 の2点を報告	

第8回	令和2年 7月28日(火)	伊東市役所1階 展望ギャラリー	○これまでの協議経過について ○令和2年度 図書館・文化ホール検討会のスケジュールについて ○文化ホール建設に向けた検討
第9回	令和2年 11月18日(水)	伊東市役所1階 展望ギャラリー	○検討会最終報告(案)協議

平成30年10月17日の開催以来、計9回の検討会を開催し、建設候補地及び建設形態等について議論を行った。

本検討会の所掌事務は、図書館及び文化ホールの建設形態の決定、建設候補地の選定であることから、2年に渡る議論を行ってきたが、本報告をもって、図書館・文化ホール建設に向けた検討会の議論を終結することとする。

## 2 文化ホール建設に向けた検討

### (1) 本市における文化ホールの現状

※平成30年3月に策定した『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について』等から引用

#### ア 観光会館

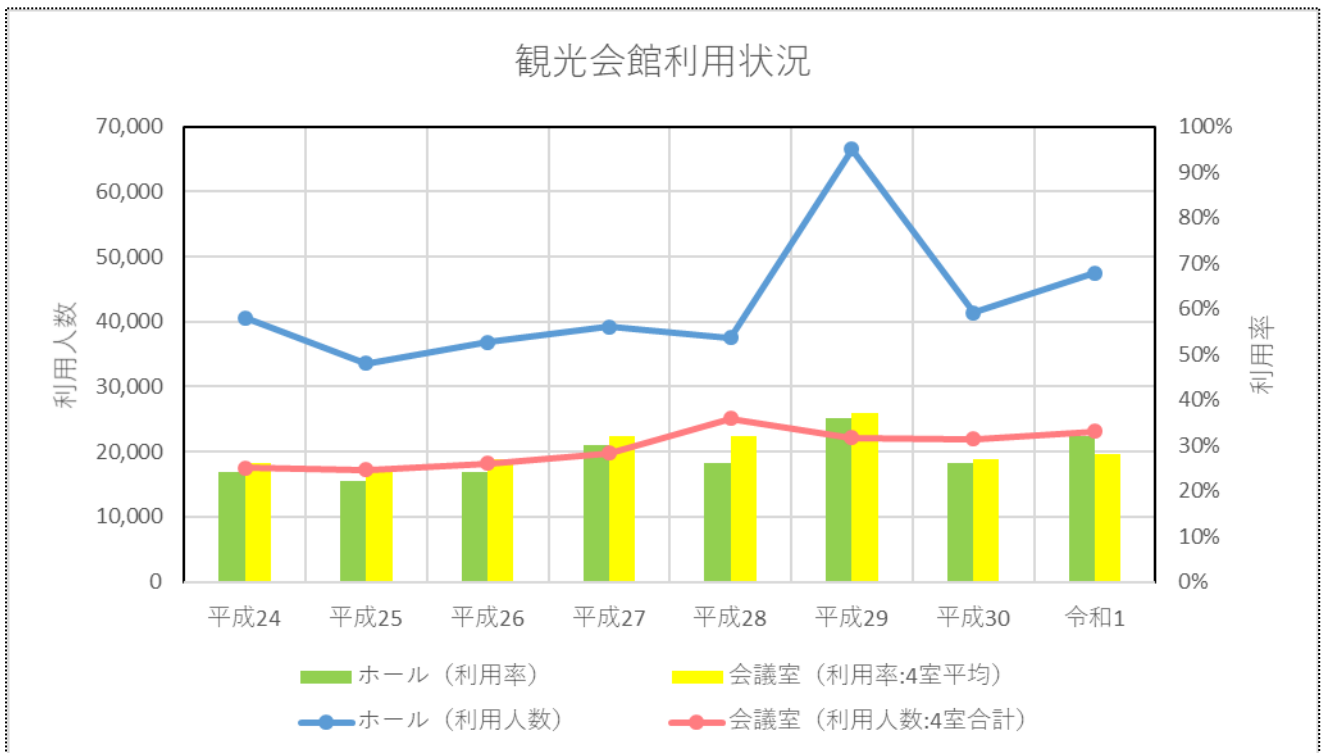
ホールの利用人数は、平成29年度を除き横ばい傾向にある。会議室の利用人数は増加傾向にある。利用回数・利用率とも8年前（平成24年度）に比べ増加している。

施設の老朽化が進み、利用率は約2～4割程度となっている。また、ホールの定員は約1,000人であるが、1回500人以上の利用はほとんどない状況である。

#### ○施設の概要

延床面積	収容人数	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室
4,568 m <sup>2</sup>	ホール 1階:715人 2階:292人 計:1,007人	150人	120人	30人	24人

#### ○利用状況



	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
ホール	利用人数	40,553	33,545	36,798	39,243	37,536	66,544	41,371	47,478
	利用回数	243	225	248	312	263	365	264	324
	利用率	24%	22%	24%	30%	26%	36%	26%	32%
会議室 (4室)	利用人数	17,491	17,263	18,253	19,763	25,151	22,113	21,906	23,096
	利用回数	260	249	273	335	329	376	274	285
	利用率	26%	24%	27%	32%	32%	37%	27%	28%

※利用人数・回数は、1日を3回の時間帯に分け、使用された延べ人数及び延べ回数で集計

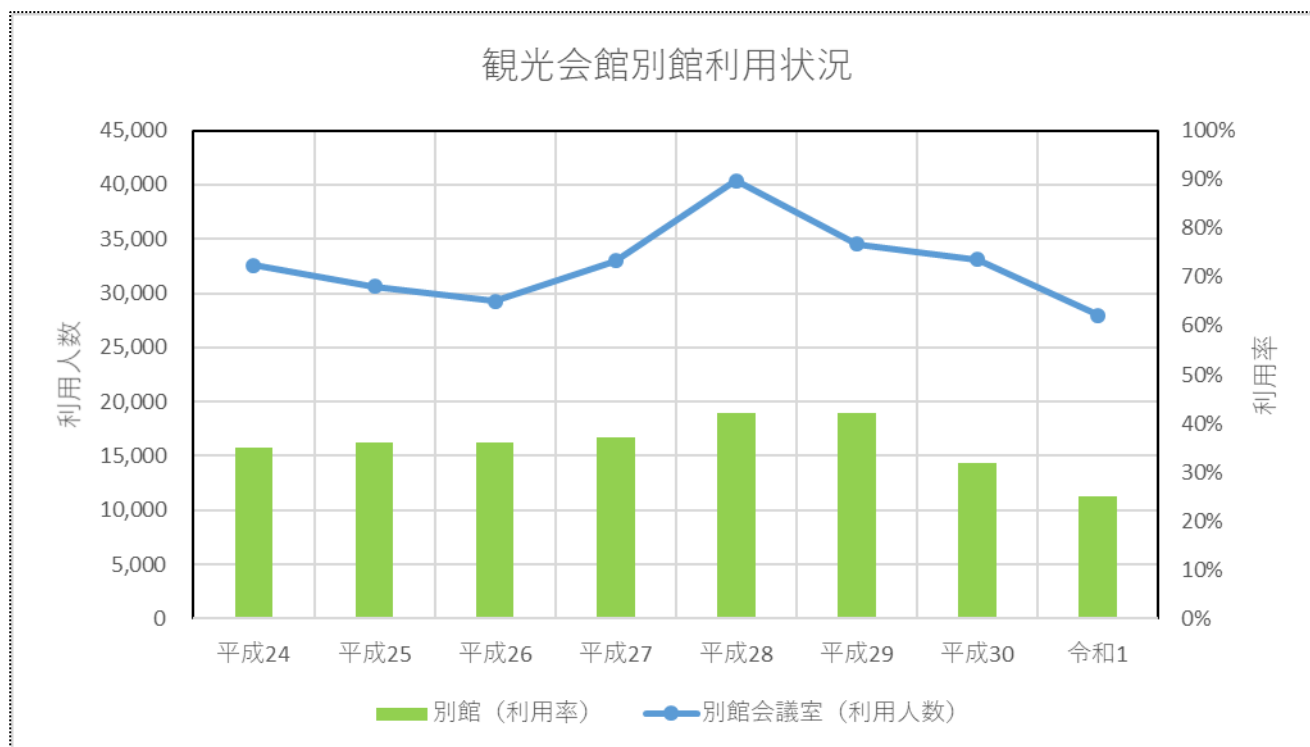
## イ 観光会館別館

利用人数は、平成 26 年度以降増加していたが、ここ数年は減少傾向である。  
 利用回数・利用率とも、8年前（平成 24 年度）に比べ減少している。  
 利用率は、約4割程度で推移しているが、平成 29 年度以降減少傾向である。

### ○施設の概要

延床面積	会議室
765 m <sup>2</sup>	285 人

### ○利用状況



年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数	32,592	30,605	29,257	32,970	40,354	34,531	33,103	27,987
利用回数	354	363	371	384	435	424	326	255
利用率	35%	36%	36%	37%	42%	42%	32%	25%

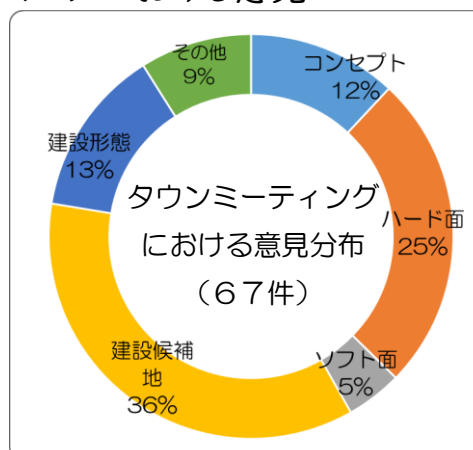
※利用人数・回数は、1日を3回の時間帯に分け、使用された延べ人数及び延べ回数で集計



## (2) 地域タウンミーティング及び未来ビジョン会議における検討

### ア 平成30年度地域タウンミーティングにおける意見

コンセプト	8件
ハード面	17件
ソフト面	3件
建設候補地	24件
建設形態	9件
その他	6件
<b>合計</b>	<b>67件</b>



※市内15地域にて多くの方から貴重な御意見を伺いました。

※以下は、文化ホールに関連する意見のみ掲載しています。

※“建設形態”は既に決定しているため、意見の記載を省略しています。

#### ①コンセプトに関する意見

- 新図書館・文化ホールで市民文化の育成が進むことを望む。
- 学校の統廃合の問題と関連するが、賑わいの創出につながるような方法を考えてほしい。
- ターゲットと施設の規模を先に決定したほうがよい。
- 建設後の活用方法をイメージし、それに合致した施設・設備となるよう建設してほしい。

#### ②ハード面に関する意見

- 【図書館・文化ホール共通】**
- バスなど大型車で施設付近まで入れるよう、近隣道路も含めた整備をお願いしたい。
  - 建設費の問題について、PPP/PFIの検討をしてほしい。
  - 新施設は、利用しやすい建物構造にしてほしい。
  - 少子高齢化が進み財政が縮小していく中、建設に際しては初期投資とランニングコストについても比較検討し、市民へ説明してほしい。

- 【文化ホールについて】**
- 機材搬入等、利用しやすい構造を望む。
  - 文化ホール設計に際しては、音楽関係者等も参画させてほしい。
  - 収容人数は観光会館と同程度にしてほしい。
  - 外観が、観光地伊東にふさわしい建物
  - 中途半端なものにならないよう計画してほしい。
  - 舞台・音響・楽屋等が充実したものとなるよう、利用者や専門家の意見を取り入れてほしい。

#### ③ソフト面に関する意見

- 図書館・文化ホールの運営主体はどうか。現状同様、図書館は市直営、文化ホールは委託か。
- 文化ホールの運営は、民間委託も視野に入れているか。

#### ④建設候補地に関する意見

- 図書館・文化ホール建設計画と駅前整備の計画との兼ね合いはどうか。
- 文化ホール建設に際し、どの程度の広さを考えているか。
- 中心市街地の活性化が伊東市の最重要課題。文化ホール建設はそれに寄与すべき。伊東温泉情緒を残す松川沿いでの事業展開が望ましく、文化ホールも藤の広場を活用すべき。
- 西小学校及び旭小学校を東小学校へ統合し、西小学校跡地に文化ホールを建設してはどうか。
- 文化ホールは伊東駅前が適地だと考える。
- 市内県立高校3校が商業高校に統合された場合、伊東高校の跡地を建設地としたらどうか。
- 図書館・文化ホールは市街地にあったほうが良いと考えるので、西小学校なども魅力的な候補地の一つになるのではないか。
- 小中学校の統廃合及び高校の再編によって生じる敷地も活用可能ではないか。それらの土地の利

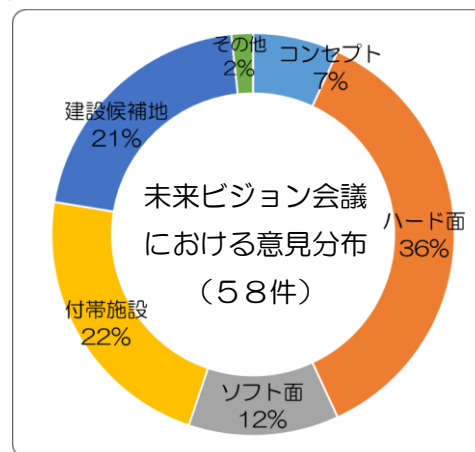
	<p>活用を含め柔軟に対応してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○時間的な制約がある中、市民の利便性や経済性、市全体のまちづくりを考慮し、最適な場所を選定していただきたい。</li> <li>○小学校統廃合と関連し、西小学校の跡地を活用するのも一つの案だと思う。建設を急ぐ必要があれば、現在の図書館に近いマンダリン跡地が適地ではないかと思う。</li> <li>○新施設は伊豆高原に作ってほしい。災害時の避難場所としても、伊豆高原エリアに必要である。</li> <li>○南部地域には市の施設が少ないため、新施設は南部地域に作ってほしい。</li> <li>○高齢化が進む中、駅からの徒歩圏内であることが理想だと考えるので、伊豆高原駅周辺が適している。伊豆高原は素晴らしい環境で文化度が高く芸術家も多い地域であるが、発表する場がない。この地域を文化村のようなイメージで作ってはどうか。</li> <li>○建設候補地案はいずれの場所も決め難く、高校再編によりできる土地3か所はいずれも広く適地となり得ると思う。</li> <li>○伊豆高原地区に重要施設を建設することで郊外から市を発展させてほしいと思う。利用頻度の低い大規模施設を1か所建設するのではなく、利用しやすい小規模施設を2つ建設し、市全体に文化を波及させ、市の発展にも繋がると考える。</li> <li>○伊豆高原駅周辺を一体的に活用し、観光客も利用したくなるような魅力的な施設としてほしい。</li> <li>○駅前よりも広い駐車場を確保できる場所への建設が良いが、施設の形態によっては駅前に建設することで観光客誘致や駅前整備につながることも期待できる。</li> <li>○文化ホールの規模(800席程度)については賛成である。文化ホールは街の象徴となり、訪れる人が行き帰りも楽しめるように商店街と連携できるような場所や、伊東市の顔である駅前に建設するのが良いのでは。</li> </ul>
--	---

⑤その他	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅前整備や図書館・文化ホール建設については市民の関心が高いため、随時情報を出してほしい。</li> <li>○図書館協議会を設置し、市民の声を反映させる場を設けるべきではないか。どのような図書館、文化ホールを願っているのか「市民の声」をまず形にし、候補地を決定することが市民が希望する施設建設につながる。</li> <li>○人口減少が進む中、新たな建物の建設は、市民の負担増になるのではないか。</li> </ul>

※重複する御意見もあることから、記載している御意見は意見数と一致しているわけではありません。

## イ 未来ビジョン会議における意見

コンセプト	4 件
ハード面	21 件
ソフト面	7 件
付帯施設	13 件
建設候補地	12 件
その他	1 件
<b>合計</b>	<b>58件</b>



※委員18人が3グループに分かれて各種提案をしていただきました。

※以下は、文化ホールに関連する意見のみ掲載しています。

### ①コンセプトに関する意見

- 伊豆半島各地から人が集まる大型複合施設・伊東市民の豊かな暮らしの実現
- 図書館=市民の教養・健康増進、文化ホール=市内経済の活性化
- 図書館は「静=オシャレ」、文化ホールは「動(賑やか)=ナチュラル」であり正反対の施設  
⇒単体施設であるべき
- 伊東らしい特徴の機能や整備を入れる(温泉、自然環境を生かす)

### ②ハード面に関する意見

#### 【文化ホールについて】

- 音響が良い施設(映画、演劇、コンサート等)
- 座席稼働式(スポーツ等にも活用可能)
- 大ホール(1500人~2000人)と小ホール(300人~500人)の併設
- 楽屋、リハーサル室、フリースペース
- コンベンションホール

### ③ソフト面に関する意見

#### 【文化ホールについて】

- イベントと連動した、宿泊プラン
- 映画館、演劇、コンサート、パブリックビューイングの開催

### ④付帯施設に関する意見

- カフェテリア(飲食をしながら学習ができる)
- ジム、温泉プール
- 子どもが遊べる場所
- 漁協直営のレストラン
- ボルダリングスペース
- 大きい公園
- 足湯(足湯などの癒しの場)
- クロモジ(伊豆高原名産の木:遊歩道へ植樹)
- シェアオフィス

### ⑤建設候補地に関する意見

#### 【1グループ⇒アピタ交差点南側に複合施設】

- (選定理由) ○土地も広く制約が少ない
- 自由度が高い
  - 市内全域からの利便性が良い

- (懸念事項) ○交通渋滞の恐れ ⇒ 駐車場への入り口を複数作ることで分散
- 最寄り駅や市街地から遠い ⇒ シャトルバスの活用

【2グループ⇒マンダリンホテル跡地に図書館、伊豆高原駅周辺(文化ホール)】

(選定理由)○市街地で利用しやすい。

○現在の図書館に近い。

○周辺施設(健康福祉センター・ひぐらし会館等)との一体的な活用が可能

○伊豆高原エリアに文化芸術のイメージが醸成できる。

○伊豆高原駅には駐車場が多く、交通の利便性が高い。

(懸念事項)○津波浸水区域 ⇒ 1階を駐車場にすることで解決

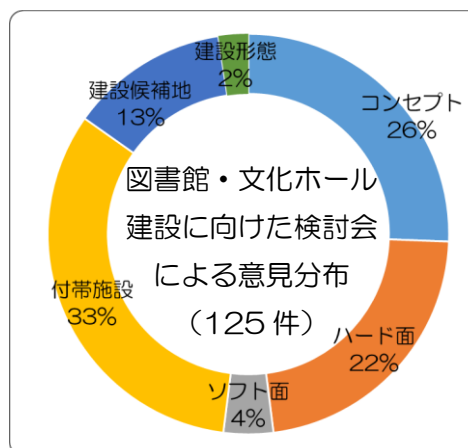
○交通渋滞の恐れ有 ⇒ 公共交通機関の利用を呼び掛ける。

## ⑥その他(1件) ○ネーミングライツの活用

※重複する御意見もあることから、記載している御意見は意見数と一致してはおりません。

### (3) 図書館・文化ホール建設に向けた検討会における検討(意見)

コンセプト	32件
ハード面	28件
ソフト面	5件
付帯施設	41件
建設候補地	16件
建設形態	3件
<b>合計</b>	<b>125件</b>



※委員11人により、建設形態及び建設候補地について議論をしました。

※以下は、文化ホールに関連する意見のみ掲載しています。

※“建設形態”は既に決定しているため、意見の記載を省略しています。

①コンセプトに関する意見	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンセプトを考えてから建設候補地を決めるべき。</li> <li>○子どもから高齢者までが交流できるような空間</li> <li>○小さな子連れでも気軽に、ゆったりと過ごせる。</li> <li>○市民が集まりやすい。(駐車場が広い。)</li> <li>○市民が多目的に集える空間</li> <li>○静かな環境で落ち着ける。</li> </ul>
②ハード面に関する意見	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駐車場の敷地は十分に確保してほしい。</li> <li>○観光会館は椅子が狭く利用しづらい。</li> <li>○800人規模だと企業の大会誘致が難しいことから、興行的には1,200人以上の収容を目指し、大きな施設が良い。</li> <li>○新文化ホールを伊東市の文化の拠点とするためにも、付帯設備が充実した総合的な文化ホールにすべきだと考えることから、一定の敷地面積が必要であると思う。</li> <li>○新しい生活様式の中では、ホールの使い方が変化していくことも想定されることから、余裕を持って大きめの文化ホールが必要ではないか。</li> <li>○当初、600席から800席という方向であったが、可能であれば大きほうが良いと考える。</li> <li>○企業の大会等を誘致するのに、1,000席ぐらいのホールが必要だと思う。</li> <li>○観光・経済の分野にとっては、1,000人から1,200人規模のホールが理想的である。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症対策を考えた際に、総合的な文化ホール建設には、一定程度の敷地面積が必要である。</li> <li>○最低でも現在の観光会館のレベルの人数を収容できるホールが必要だと思う。</li> <li>○新文化ホールには、付帯施設の充実を期待することから、十分な駐車場を確保する必要がある。</li> </ul>
③ソフト面に関する意見	
	文化ホールに関する意見は、無し。
④付帯施設に関する意見	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが鑑賞できる親子スペースを設けてほしい。</li> <li>○温水プールを併設させることで伊東らしさが出る。</li> <li>○歴史や文化などを展示するギャラリーを設けたほうがよい。</li> <li>○会議室(大・中・小)、視聴覚室(2室以上)、作法室(和室)、多目的室、研修室の設置</li> <li>○文化の生きるまちづくりとして、ミニギャラリーやミニシアター</li> </ul>

## ⑤建設候補地に関する意見

- 文化ホールは、是非伊東駅前に建設してほしい。津波避難タワーにもなり、駅前がにぎやかになることや、電車等を利用する高齢者等の利便性も向上する。
- 文化ホールは、駅に近い場所に建設したほうがよい。
- 文化ホールの建設地は、駅から街なかを歩いて行ける西小学校の跡地が最適ではないか。  
⇒にぎわいの創出に繋がる。
- 文化ホールは、様々なアイデアを出して稼働率を上げることができれば、ホールは大きいほうが良いことから、西小学校跡地が適地ではないか。
- 文化ホールは、西小学校の跡地であれば、駅からも近く、市街地の活性化につながると思われる。
- 文化ホールは、タクシー、バス、電車などの公共交通機関から近い場所として、伊東駅前に建設してほしい。
- 小学校の適正配置により西小の跡地を利用できるのであれば、西小が適地だと考える。
- 現段階では西小学校跡地と伊東駅前を候補地とすべきではないか。

※重複する御意見もあることから、記載している御意見は意見数と一致しているわけではありません。

### 3 文化ホール建設候補地の選定について

令和元年10月1日の第7回検討会において、新図書館の建設形態の決定及び建設候補地の選定に係る協議並びに中間報告書(案)に係る協議を実施した以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の理由により、検討会の開催を見合わせていたが、令和2年7月28日に検討会を開催し、新文化ホールの単独建設に向け建設候補地選定の協議を行った。

○第8回検討会資料(概要) これまでの協議経過(まとめ)

	建設候補地	面積※1	検討の経過及び意見等
1	伊東駅前	5,964㎡	伊東市の玄関口として <u>利便性を考えた際、文化ホールの候補地になり得るが十分な敷地面積が確保できない懸念や、駅前再開発の進捗等に左右される可能性がある。</u>
2	マンダリンホテル跡地	3,874㎡	本検討会において、 <u>新図書館の建設地として選定</u>
3	市民運動場	17,518㎡	人工芝生化事業を実施するとして、 <u>候補地から除外</u>
4	アピタ交差点南側	15,546㎡	建設に際しては、大規模な造成が必要なことから、 <u>本検討会で候補地になり得る旨の意見は無し。</u>
5	伊豆高原駅周辺	17,987㎡	市南部地域から伊豆高原駅周辺への文化ホール建設に係る意見等が寄せられているものの、 <u>本検討会で候補地になり得る旨の意見は無し。</u>
6	統合後の西小学校※2	約15,000㎡	伊東駅や南伊東駅からの人の流れを考慮した際、街なかのにぎわい創出につながることから、文化ホールの候補地になり得るが、市内小・中学校の適正配置より先行して、 <u>新文化ホールの建設候補地として選定することは時期尚早ではないか。</u>

※1 面積については、Web上の地図システムから算出したもので、測量による実際の測定値等ではない。

※2 西小学校については、小中学校の適正配置が進む中、議論のそ上に載ってきたもので、平成30年3月に策定した『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について』には掲載されていない。

第8回検討会においては、14 ページに記載の『第8回検討会資料(概要) これまでの協議経過(まとめ)』を基に新文化ホールの建設地に係る協議を行い、多くの意見が出される中、以下に記載の『伊東駅前』・『統合後の西小学校』の2か所に絞られることとなった。

### 新文化ホール建設候補地のメリット・デメリット(委員からの意見)

	メリット	デメリット
【候補地(案)1】 <b>伊東駅前</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の玄関口である駅前がにぎやかになる。</li> <li>・電車、タクシー、バスなどの公共交通機関を活用した利用が可能である。</li> <li>・利便性が高い。</li> <li>・高齢者等も利用しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前再開発のスケジュールに影響を受ける可能性がある。</li> <li>・十分な敷地がなく、駐車場の確保が困難</li> </ul>
【候補地(案)2】 <b>統合後の西小学校</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関を利用する方が、駅から街なかを通ることで、市街地のにぎわい創出に繋がる。</li> <li>・施設利用者の駐車場について、十分な台数を確保できる。</li> <li>・楽屋、ホワイエなどの附带施設の充実が可能</li> <li>・総合文化ホールとしての大規模施設の建設が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小・中学校の適正配置のスケジュールに影響を受ける可能性がある。</li> <li>・市内小・中学校の適正配置より先行して、新文化ホールの建設候補地として選定することは時期尚早である。(※第8回検討会までの意見)</li> <li>・西小学校校舎の解体費用等がかかる。</li> </ul>

また、これらメリット・デメリットを総合的に勘案する中で議論を進め、以下のとおり、新文化ホールの建設地について選定をした。



【令和2年11月18日開催 第9回 図書館・文化ホール建設に向けた検討会において決定】

新文化ホールの建設地を『伊東駅前』・『統合後の西小学校』

の2か所に選定



## 【理由】

委員からは、新文化ホールの座席数、附帯施設などの、施設の詳細な仕様が決定していない段階で、候補地を選定するのは難しく、また、現在、市内小・中学校の適正配置に向けた動きが本格化し、今後住民等との協議を進めていく状況下において、適正配置により生じる候補地を本検討会において先行して選定するのは、時期尚早である旨の意見も述べられた。

したがって、本検討会においては、市内の候補地のうち、現段階で最善となる候補地を複数選定し、今後基本構想や基本計画を策定する際、伊東市の財政状況や、新型コロナウイルス等の感染症の拡大状況など、各種社会情勢やすう勢を適正に見極める中で、新文化ホールの建設地を決定すべきであるとして、上記複数の候補地を選定し、建設地の決定については、市当局に委ねることが最善であると判断したためである。

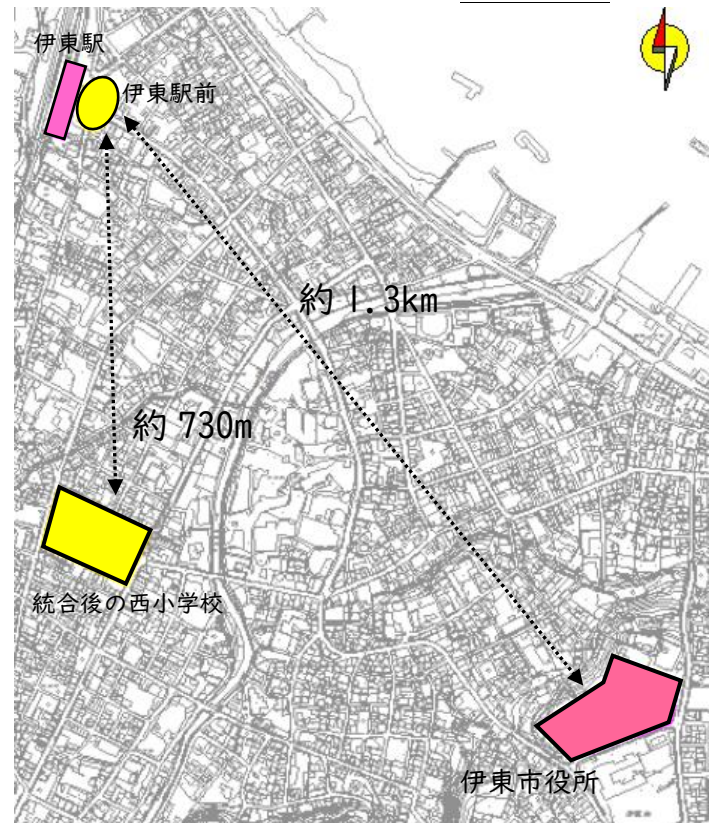
また、令和2年10月23日開催の総合教育会議において東小・西小・旭小3校の統合先校舎が東小学校に決定したことから、本検討会にて選定した、2か所の候補地における文化ホール建設が、より現実味を増す形となったと思料する。

さらに、現ホールである観光会館の利用率は、2割から4割程度で推移していることから、市内外の利用者を増やす方策についても検討を進めていただくとともに、市民の文化向上に資する文化ホールとして、伊東市の今後の発展・活性化につなげるために、誰もが利用したくなる施設としての魅力創出に向けた検討を進めていただきたい。

なお、2つの候補地については、それぞれメリット・デメリットがあるが、これらを総合的に勘案する中で、新文化ホール基本構想の策定に期待を寄せつつ、“新文化ホールに望むこと”として、以下内容の意見が述べられた。

以上、これまでの議論を踏まえ、観光温泉文化都市である伊東市が未来において輝きを保つためにも、総合文化拠点となるような文化ホールの建設を望むこととする。

○伊東駅前・統合後の西小学校の位置関係（距離は直線距離）



検討会委員から寄せられた“新文化ホールに望むこと”（第8回検討会からの抜粋等・再掲）

### 意見内容

- ・新文化ホールを伊東市の文化の拠点とするためにも、附帯設備が充実した総合的な文化ホールにすべき。
- ・（新型コロナウイルス感染症の影響により）ホールの使い方が変化していくことも想定されることから、余裕を持って大きめの文化ホールとすべき。
- ・当初、600席から800席という方向であったが、可能であれば大きほうが良いと考える。
- ・企業の大会等を誘致するのに、1,000席ぐらいのホールが必要だと思う。

- ・観光・経済の分野にとっては、1,000人から1,200人規模のホールが理想的である。
- ・最低でも観光会館の収容人数を確保してほしい。
- ・附帯施設の充実を期待することから、十分な駐車場を確保する必要がある。
- ・文化ホールの建設については、利用者、舞台の専門家のほか、高校生などの若い人たちも含めて検討を進め、より良い施設にしてほしい。
- ・楽屋やリハーサル室など演者が気持ちよく過ごせる部屋も作ってほしい。
- ・伊東市に大きな会議を誘致できるように、コンベンションセンターとしての役割を有するよう、大ホール、小ホールを作ってほしい。
- ・札幌コンサートホールのようなアリーナ型のホールだと魅力が増すと思う。

等

以 上

参考資料

(建設候補場所及び概要①: ※平成30年3月策定の『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について』等から引用)

	1	2	3	4
名称	①伊東駅前	②マンダリンホテル跡地	④アピタ交差点南側	⑤伊豆高原駅周辺
面積※1	5,964㎡	3,874㎡	15,546㎡	17,987㎡
位置	・湯川地区 ・伊東駅に隣接	・岡地区 ・南伊東駅から約1km	・玖須美地区 ・川奈駅から約2km	・八幡野地区 ・伊豆高原駅に隣接
敷地状況	・伊東駅周辺 ・駅前広場、道路と一体的に再開発をして敷地を確保	・中央会館、伊東図書館等の市仮設駐車場	・アピタ交差点南側の市有地の山林で大規模造成が必要	・伊豆高原駅周辺 ・民有地の山林等を買収して敷地を確保
用途地域 (建ぺい率 / 容積率)	・商業地域(80/400) ・近隣商業地域(80/300)	・近隣商業地域(80/300)	・指定なし(60/200)	・指定なし(60/200)
災害発生危険区域	・津波浸水想定地域(1~3m) ・土砂災害警戒区域 ・噴火の発生及び影響の範囲	・津波浸水想定地域(0.3~2m) ・洪水浸水想定地域(0.5m未満) ・噴火の影響の範囲	・噴火の影響の範囲	-
都市的位置づけ	・健康保養都市にふさわしい「市街地の中の観光」を活性化する都市機能を導入する。	-	-	・自然環境を活かした文化ゾーンを形成する。

※1 面積については、Web上の地図システムから算出したもので、測量による実際の測定値等ではない。

※2 西小学校については、小中学校の適正配置が進む中、議論のそりに載ってきたことから、上記には掲載されていない。

(建設候補場所及び概要②: ※平成30年3月策定の『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について』等から引用)

No.	1	2	3	4
名称	伊東駅前	マンガリンホテル跡地	アピタ交差点南側	伊豆高原駅周辺
利便性	○	△	△	△
	伊東駅に隣接し、市民、観光客等※ <sup>1</sup> の利用が容易である。 車の渋滞が生じる。	市街地にある。 最寄り駅から離れている。	市域の中心にある。 最寄り駅から離れている。 車の渋滞が生じる。	伊豆高原駅に隣接し、観光客等※ <sup>1</sup> の利用が容易である。 市域の中心から離れている。
防災性	△	△	△	○
	津波避難施設が確保される。 鉄道運転見合わせ時の一時避難施設になる。 複数の災害発生危険区域にある。	津波避難施設が確保される。 複数の災害発生危険区域にある。	避難スペース等が確保される。 噴火の影響の範囲にある。	避難スペース等が確保される。 災害発生危険区域は無い。 鉄道運転見合わせ時の一時避難施設になる。 -
機能性	△	△	○	○
	市民、観光客等※ <sup>1</sup> のテナントやイベント利用の期待が最も大きい。 平面駐車場が不足する。	平面駐車場(50~100台程度)が確保できる。 文化ホールの整備が不可能である。	広い平面駐車場(200台程度)が確保できる。 近隣の施設と競合する、交流・にぎわい施設の検討が必要である。	広い平面駐車場(200台程度)が確保できる。 (既存の駐車場も利用することが可能) 多目的広場の整備が可能で、多様なイベントや活動ができる施設となる。 近隣の施設と競合する、交流・にぎわい施設の検討が必要である。
発展性	○	△	△	○
	伊東市の顔にふさわしい、中心市街地の再整備の核施設として期待できる。 健康保養都市の街なか観光を活性化する施設として期待できる。 -	地域の教育活動、生涯学習活動に関する施設が充実する。 観光客等※ <sup>1</sup> の利用がしにくい。	地域の文化活動、教育活動、生涯学習活動に関する施設が充実する。 小中学校が近隣にある住宅地で、生活環境への影響が懸念される。	地域の文化活動、教育活動、生涯学習活動に関する施設が充実する。 周辺に美術館・博物館もあり文化地域として発展する可能性がある。 -
経済性	△	△	×	×
	一部市有地 再開発により敷地(市有地・民有地)と道路等公共施設を整備する必要がある。 立体駐車場等を整備する必要がある。	市有地 ほとんど造成等整備は不要である。 別途、文化ホールを整備する必要がある。	市有地 大規模造成等敷地整備が必要である。 周辺道路を整備する必要がある。	- 造成等敷地整備が必要である。 用地買収が必要である。

建設候補地の比較

○:良い、△:普通、×:悪い

※<sup>1</sup> 観光客等は、観光客及び市外利用者のことをいう。

※<sup>2</sup> 西小学校については、小中学校の適正配置が進む中、議論のそ上に乗ってきたことから、上記には掲載されていない。